

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成23年 7月 29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市左京区吉田本町		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 京都大学 学長 松本 紘
環境マネジメントシステムの名称	京都大学環境計画	
適用範囲	京都大学 吉田団地, 京都大学 宇治団地, 京都大学 桂団地	
導入年月日	平成20年 1月 21日	
認証番号	なし	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 様々な環境負荷に関する情報を継続的に把握・検証 ② エネルギー使用量と温室効果ガス排出量の削減 ③ 廃棄物による環境負荷の低減 ④ 化学物質の安全・適正管理の推進 ⑤ 全構成員に対する環境安全教育の推進 	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ① 省エネルギー 2%削減（原単位・毎年）（ハードウェアで1%、ソフトウェア（環境配慮行動）で1%） ② 省CO2 2%削減（原単位・毎年）（ハードウェアで1%、ソフトウェア（環境配慮行動）で1%） ③ 廃棄物の排出削減とリサイクル 排出の削減とリサイクルの取り組みを実施する 	
目標を達成するための取組の内容	<p>環境安全保健機構長が部局長に以下の実施を促すためにエコキャンペーンを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 省エネルギー（省CO2）：省エネルギー推進方針及び環境賦課金方針により以下の事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> (ア) ハードウェアで削減実施のためにE.S.C.O事業を実施 (イ) 上記事業以外にも照明設備の改修、変圧器のトッランナー型への更新、空調設備の改修などを実施 ② 環境配慮行動：環境配慮を推進するために環境配慮日めくりカレンダー作成し以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> (ア) エコ宣言Webサイトへの構成員参加を促進する等の環境配慮行動を実施 (イ) 新入生ガイダンスにおいて環境配慮行動について説明実施 ③ 廃棄物の排出削減とリサイクル：コピー枚数の削減、建物改修時にリサイクル実施 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 紙の使用減量化 (イ) オフィス家具のリユース (ウ) 環境負荷の大きい蛍光管を長寿命化蛍光管に転換 	
目標を達成するための取組の進捗状況	上記、取組の内容に記載のある事項については、既に着手しており、着実に成果をあげているところである。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>省エネルギー・省CO2については共に3年間を通して、前年平均エネルギーは1.1%、CO2は1.4%削減されたが、環境配慮行動は一定の成果はあったものの全学的に削減された数値を示して公表できるような実績は得られなかった。生活系の廃棄物は毎年2.8%/人削減されている。またオフィス家具のリユースプロジェクトは法経済学部校舎など改修時に専用のHPを作成して利便性を高めている。このようにほぼ当初の計画どおりに進展している。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の順守状況については毎年確認している。これまでの違反及び行政当局からの指摘は無かった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	原則として毎年継続的に見直しを実施し、必要に応じて変更する。平成23年度は現行目標について見直しを実施したが、変更の必要がないので、前年の環境マネジメントシステムを踏襲することとした。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。